

平成13年度研究成果発表会を開催

平成13年度の研究成果発表会を「共に創ろう地域技術」をテーマに、7月25日（水）に当センターで開催し、県内企業の方々をはじめ各方面から87名の参加をいただきました。

鹿児島県知的所有権センター 大井敏民氏の特別講演では「特許情報と憶えたインターネットであなたも発明家!!」と題して、特許電子図書館の有効な利用法について講演をいただきました。引き続き、昨年同様今年度も口頭発表8テーマ（SUSの加工条件が表面特性に及ぼす影響、木材塗料の耐候性試験、モウソウチク由来加圧熱水分解物の抗白血病細胞活性、冷凍魚の食品加工におけるヒスタミン挙動、川辺仏壇の新設計システムに関する研究、農産物不良センシング技術の研究～ソラマメ内部の「しみ症」の検出～、光ディスクリペア装置の開発、塑性加工における金型内部応力のリアルタイム可視化技術）を2会場（A会場：素材・化学・食品とB会場：デザイン・電子・機械）に分かれて分科会方式で発表したとこ



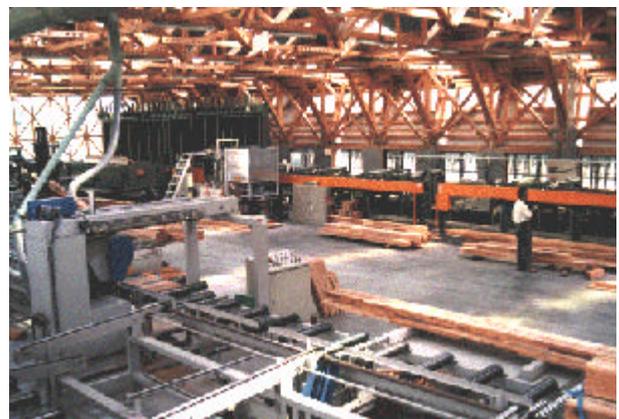
研究発表会風景

ろ、多くの方々の聴講をいただき、さらに活発な質疑応答がなされ関心の高さがうかがわれました。また、8テーマについてパネル展示も行いました。

また、成果発表会の様子は、当センターのホームページからインターネットを通じて生中継されました。なお、成果発表会予稿集も若干残っていますので、ご希望の方は企画情報部までご連絡下されば配付いたします。

県産スギ材を活用した中小断面集成材の製造を開始

当センターで取り組んだ「中小断面集成材の製造システムの開発」（平成7～9年度）、「集成材の製造・利用技術の実用化研究」（平成10～11年度）の両事業の成果を受けて、鹿児島県森林組合連合会隼人木材加工センターと山佐木材株式会社の2社が、今年度からスギ中小断面集成材の製造に取り組むことになりました。住宅品質確保促進法の施行により構造部材の性能表示が重要になっていますが、集成材は寸法形状や強度性能が安定しているため木造住宅への需要が高まっており、県産スギ材の需要拡大が期待されています。



隼人木材加工センターの集成材製造ライン

工業技術センターの特許2件が登録

当センター（県）が出願していました発明が、特許として登録されました。今回登録された特許は「サツマイモ及び大豆を原料とする発酵食品の製造法」（特許番号：特許第3191106号，登録日：平成13年5月25日）と「回路実装プリ

ント基板の誤動作箇所検出法及び検出装置」（特許番号：特許第3209944号，登録日：平成13年7月13日）の2件です。特許の内容や実施権のお問い合わせは，企画情報部までご連絡下さい。

仏壇加工技術講習会の開催

当センターでは平成10～12年度に実施した「川辺仏壇の新設計・製造システムに関する研究」で実用化した「炭酸ガスレーザー加工機による仏壇加工技術」の普及を図る目的で，8月3日に川辺仏壇製造業者30社を対象に仏壇加工技術講習会を開催しました。レーザー加工機を用いた仏壇部品加工CAD・CAMシステムを用いることにより，新しいデザインの仏壇製造が可能となる技術に高い関心が寄せられました。



講習会の風景

CAD/CAM講習会を120名以上の方が受講

当センターでは本年度から，CAD/CAMの操作技術の習得や情報発信を目的として3次元CAD/CAMに関する技術研修会を定期的で開催しています。

CAD/CAMの操作と工程の流れを体験する「CAD/CAM1日体験コース」や，本格的にCADの操作を習得する「モデリングコース」な

ど，合計8回（17日）の研修会に延べ120名以上の方が受講しました。

また，延べ190人近くの方が見学，技術相談，データ作成などのためCAD/CAMシステムを利用しました。

今後も，CAD/CAMに関する様々な技術研修会を開催していく予定です。

CAD/CAMシステムの紹介

ハードウェア

CAD/CAM用パソコン(CPU:1GHz,HDD:40GB)6台。当センターのNC工作機械とネットワークで接続してあります。

ソフトウェア

3次元CAD/CAM&切削シミュレーション：パソコン上で曲線，曲面，立体モデルを作成し，加工プログラムを自動作成します。加工プログラムのミスなどもパソコン上でチェックできます。



講習会の風景